



MICROFINANCE FOR POVERTY REDUCTION

～カンボジアにおける最適な貸付形態について～

宇野ゼミ・カンボジア語専攻4年

酒井里菜

INTRODUCTION①

マイクロファイナンスとは・・・

- 貧困緩和を目的として行われる小規模金融サービスの総称
- 特徴:「少額」「短期」「無担保」
- 対象:貧困層、低所得者層

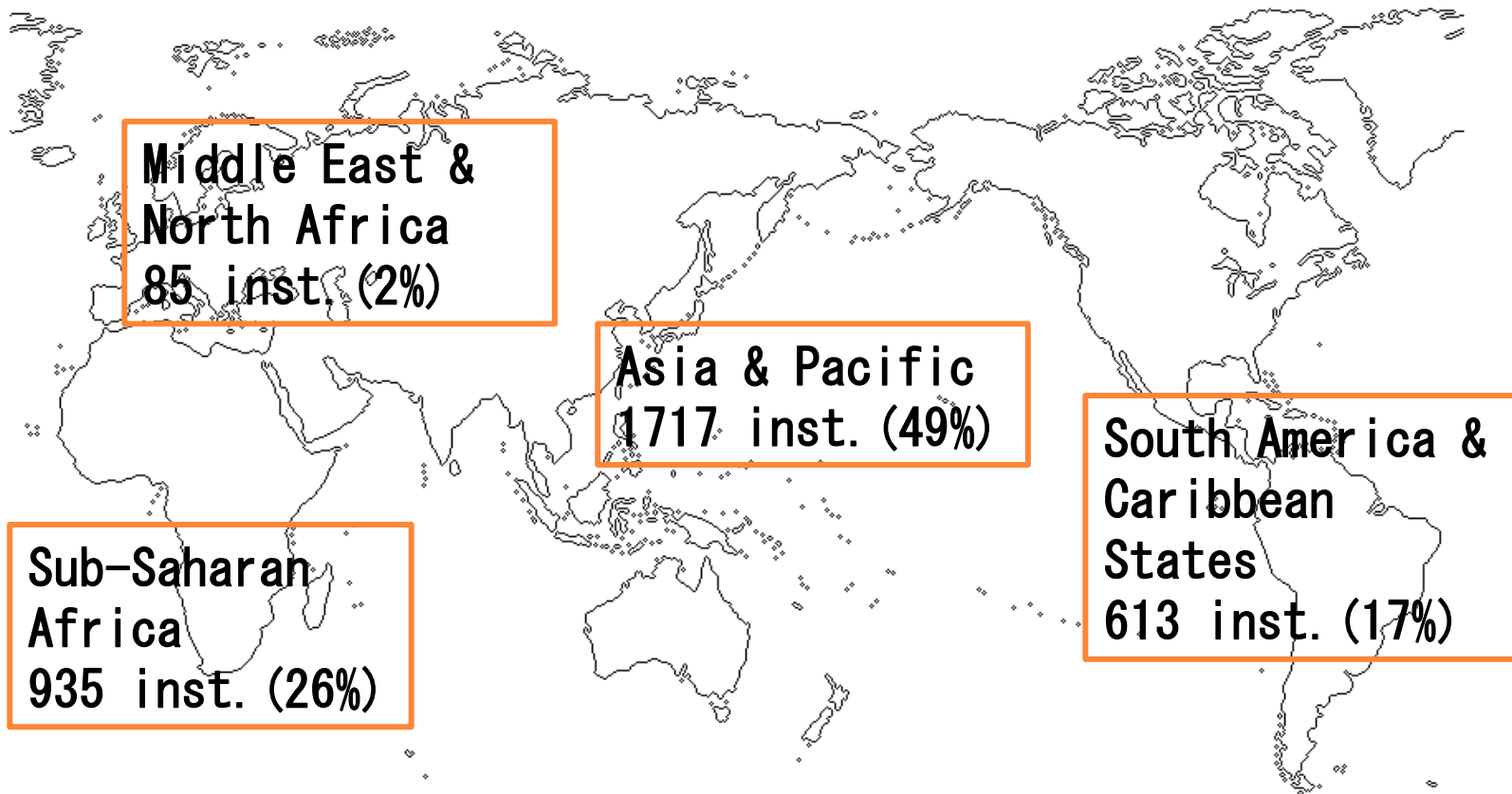
- 貧しい人々にも商売を始められるための貧困緩和ツール
e. g. 縫製業(ミシン)、運搬業(トラック)

- 代表的な成功例:バングラデシュのグラミン銀行
(2006年にノーベル平和賞受賞)

参考文献:マイクロファイナンスへのJICAの支援事例分析(2004)
参考サイト:Planet Finance Website



INTRODUCTION②



参考文献: Microcredit Summit Campaign Reports (2009)



INTRODUCTION③

借り手



- 個人
- グループ
- コミュニティ

貸し手



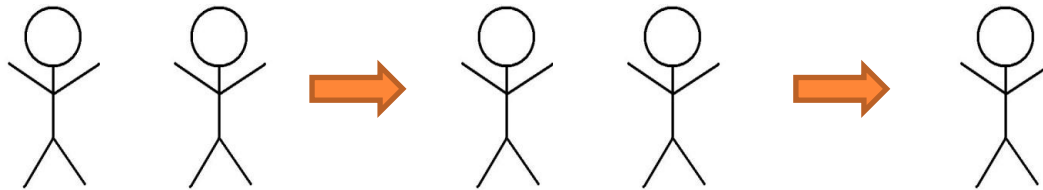
- 銀行
- 信用組合
- 農業組合
- **NGO**
- 高利貸し



INTRODUCTION④

グラミン・クラシックシステム(5人組)

返済率:95%



- 相互選抜
- 相互監視

- 他貸付形態の存在、成功例
- グループ貸付の失敗例
- グラミン銀行の新システム導入

どのような条件下で有効にはたらくのか…？

参考サイト:Grameen Bank Website



MODEL & METHOD

- 成功事例とその要因
- カンボジアの文化的背景に関する調査
- カンボジアにおける適用可能性に関する考察

< 指標 >

- 返済率
- 利用者数
- 財務的自立発展性

参考文献： マイクロ・クレジット研究会
(1997)

JICAプロジェクトの事例研究(2004)



DATA①

< 成功事例 >

- SEWA (インド)
- ラクヤット銀行 (インドネシア)
- グラミン銀行 (バングラデシュ)
- BRAC (バングラデシュ)
- CARD (フィリピン)
- TYM (ベトナム)

< 失敗事例 >

- ネパール小農開発計画 (ネパール)
- フィールド実験 (ベトナム)

DATA②

<カンボジアの文化的背景>

- 聞き取り調査

<カンボジアにおける適用可能性>

- ACLEDA
- AMK
- Amret
- CREDIT
- Hattha Kaksekar
- Prasac
- Seilanithih
- Vision Fund

参考サイト:National Bank of Cambodia Website



ANALYSIS①

< 主な要因 >

- 無担保融資
- グループでの活動やリーダーの支援
- 融資最高限度額の設定
- 十分な説明と簡易な融資プロセス、スタッフによる補助
- スタッフの教育
- グループのメンバーによる連帯保証制度

< カンボジアにおける文化的背景 >

- ① フォーマル金融機関に対する不信感
- ② 世間体 (コミュニティの親密さ)

参考文献： 岡本、栗野、吉田
(1999)

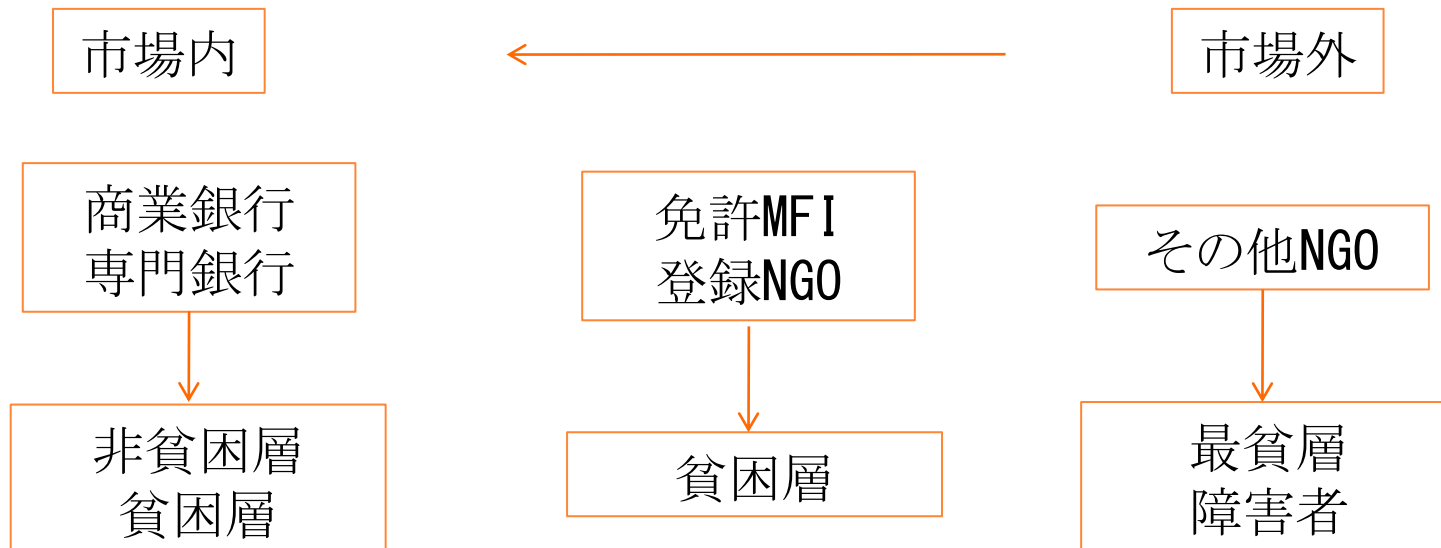
参考資料： 聞き取り調査



ANALYSIS②

カンボジアにおける適用可能性

＜カンボジアのマイクロファイナンス実施状況＞



参考資料： 東南アジアのマイクロファイナンス
(2010)

CONCLUDING REMARKS

- 貸付形態 ≤ ①持続性・②信頼
 - ①人口密度、高い返済率、技術指導、ビジネス環境、最低限インフラ
 - ②マーケティング情報、アシスタンス
- 貸付形態にとらわれない対象地域に適した柔軟性が必要
- 最貧層への効果はわからない

